

同窓会の力 ～創立40周年に寄せて～



同窓会長 石王丸 敦司（3期生）

陽春の候、同窓生の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より同窓会活動にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

最近の同窓会活動を通じて、改めて同窓会の持つ意味と価値について深く考えさせられる出来事がございました。

振り返ってみますと、同窓会とは単なる「懐かしい顔ぶれとの再会の場」以上の、より深い意義を持つものだと実感しております。同窓会には主に3つの重要な使命があると言われています。第一に「旧交を温め、親睦を図る場」として、第二に「会員相互のビジネスやスキル向上に役立つ場」として、そして第三に「地域貢献・社会貢献の場」としての役割です。

これらの使命に関連して、特に印象的だった最近の出来事を共有させていただきます。一つは、私自身子どもが進学した学校の後援会役員を務める中で、思いがけず大門高校の先輩と出会えたことです。その方は非常に活動的で同窓会活動にも積極的にもご協力くださり、そのご縁により昨年末には久しぶりのミニ同窓会を開催することができました。当日は恩師や先輩後輩の方々にもご参加いただき、学生時代の思い出話に花を咲かせ和やかに語り合い、時の経つのも忘れるほど充実した時間を過ごすことができました。

このように同窓会活動を通して、様々な分野で活躍する同窓生とのネットワークを築くことができ、それぞれの経験や知見を共有することで、普段の生活では得られない貴重な学びの機会となっています。世代を超えた交流は、私たちの視野を広げ、新たな可能性を見出すきっかけともなっています。

一方で、残念なことに高校の後輩を失うという悲しい出来事もありました。卒業から30年以上が経過し、時の流れの速さを痛感すると同時に、「時間を大切に・仲間を大切に・自分を大切に」という思いを強く感じました。この経験を通じて、同窓生同士のつながりの大切さを改めて実感いたしました。

同窓会は母校と卒業生を結ぶ架け橋となり、会員相互の親睦を図りながら母校の発展に寄与する重要な役割を担っています。私たちの活動が現役の生徒たちの励みとなり、母校の更なる発展につながることを願っております。

本年、大門高校は創立40周年という記念すべき節目を迎えます。これを記念して、式典、講演会、懇親会を予定しております。世代を超えた同窓生が一堂に会し、母校への想いを新たにできる貴重な機会となることでしょう。詳細は追ってご案内させていただきますが、皆様お誘い合わせの上、ぜひご参加いただき旧交を温めていただければ幸いです。

末筆ながら、皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

新たな段階への創意と敢行



校長 石 黒 光 弘

同窓会の皆様におかれましては、ご健勝とご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、本校は、今年度、来年度と、新たな段階を迎えています。今年度、生徒たちはコロナ禍の制約から解放され、活気あふれる学校生活を送りました。特に、6月に行われた体育大会や2年に一度行われる9月の学園祭は、生徒が楽しみ、見ている教員側もワクワクするものでした。部活動においても、陸上競技部、弓道部等が北信越大会に出場したり、伝統芸能部が11年連続で全国高総文祭に出場したりするなど、頑張りの成果が形として現れた部もありました。また、学習環境面においては、今年度、文部科学省の「DXハイスクール」に認定され、情報教育の環境が大きく改善されつつあります。本校にはご存じの通り情報コースがあるわけですが、現在、県下で唯一「情報Ⅱ」という科目をスタートしております。生徒は一人一台端末を使用しているのですが、これまで購入できなかったハイスペックなPC等をその予算で購入し、メディアルームを整備しています。生徒たちが最先端の技術に触れながら、新たな学びの機会を得ることができる、そういった下地を今年度は創っています。

そして、来年度、本校は創立40周年を迎えます。同窓会員もついに七千名を超えました。記念式典当日は、同窓会報第32号にも寄稿していただいた、本校11期生で現在金沢大学准教授の今村公紀さんに講演いただく予定にしております。同窓会員の皆様には、この記念すべき年に向けて、様々な形で協力いただければ幸いです。

さて、昨年8月10日に開催された本校の同窓会総会に初めて参加しました。本校では、卒業して直近の同窓会総会に出席するのが習わしとなっているようで、約半年ぶりに新規同窓生が顔を合わせたり恩師との思い出話に花を咲かせたり、盛況のうちに終了いたしました。このような機会を通じて、卒業後も同窓の絆を大切にしていくことを願っております。

本校は地域とのつながりも大切にしています。2年生の学校設定科目「情報課題研究」では、グループに分かれそれぞれの課題に取り組んでいます。今年度の課題の中には、「地震の時の被害予想」「認知症の方にも住みやすい射水市とは」「富山県で働く女性の増加のために」など、自分たちが住む射水市や富山県を題材としたものもかなりあります。それらの解決のために、地域の方々に直接お話を聞き、情報の技術を使いながら探究活動を行っています。優れたものは射水市長の前で発表するなど、校外に向けて発信することで、地域の方々にお返ししていくこととしています。

本校は、これまで地域の方々に支えられ、多くの優秀な人材を輩出してきました。これからも、地域に根ざした教育活動を展開し、社会に貢献できる人材を育成してまいります。同窓生の皆様には、変わらぬご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2期生 高桑 慎

大門高校を卒業してから早くも35年が経ちました。

当時は先の見えない不安を抱えながらも、仲間たちと共に笑い、励まし合い、時には真剣に議論を交わしながら過ごした日々が、今では懐かしく、そして貴重な財産として心に刻まれています。教室での何気ない会話、放課後に立ち寄った通学路沿いの店での他愛もない話、そのすべてが今の私を形作る大切な思い出となっています。

社会人となった当初は、東京で勤務していたこともあり、高校時代の仲間とは疎遠になっていましたが、富山で働く現在は、高校時代の仲間たちとは、単なる思い出を共有する関係を超えて、仕事やプライベートの場面でも深いつながりを持っています。同じ地域で働く者同士、時には業務で協力し合い、また違った視点からアドバイスをもらうこともあります。休日には家族ぐるみの付き合いに発展し、お互いの子どもたちが交流する姿を見ると、時の流れと共に深まる絆を実感します。さらに驚くことに、直接の同級生だけでなく、先輩後輩という同窓生としてのつながりも広がり、世代を超えた絆が新たな可能性を生み出しています。

この地域で生活し、働く中で、私は人とのつながりの持つ力強さを日々実感しています。困ったときに支え合える仲間がいること、喜びを分かち合える仲間がいること、それは何物にも代えがたい宝物です。地域の行事や活動に参加すると、必ずといっていいほど懐かしい顔に出会います。そんな時、高校時代に培った絆が、今では地域社会を支える大切な基盤と

なっていることを強く感じます。これまで支えてくれた多くの方々への感謝の気持ちは、日に日に深まるばかりです。

私たちは今、居心地の良い地域づくりのための大きな責任を担っています。かつて私たちが先輩方から受け継いだように、次の世代へと温かい心を繋いでいく番です。地域の課題に直面したとき、高校時代からの仲間との対話が、新たな解決策のヒントをくれることも少なくありません。それぞれが異なる経験と視点を持ち寄ることで、より豊かなアイデアが生まれるのです。

これからも、世代や立場を超えた「つながり」を大切にしながら、感謝の気持ちを忘れず、この地域の未来のために貢献していきたいと思います。一人一人の小さな優しさが連鎖し、大きな力となって、この街をより居心地の良い場所へと変えていくことを信じています。仲間がいる場所＝居心地の良い場所であることを子供たちにも感じさせてあげたいと思っています。

私たちの絆が、より良い明日への希望となり、次の世代へと受け継がれていくことを願ってやみません。



き
っ
か
け
は
娘
た
ち

卒業してはや30数年経ち、いつの間にか高校生の子を持つ親になっていますが、今でも「単位を落として留年」する夢を見ることがあります。毎回あと2単位足りずに留年が確定するというタイミングで目が覚めます。実際のところ単位が足りずに留年したことはないのですが、下限ギリギリで卒業要件単位の調整していたため、そのときのことがトラウマとなっているのかもしれません。なにしろひどい学生生活を送っていました。

さて、そのひどい学生生活について。2024年に「ふてほど」が流行しましたが、学生当時はまさにドラマ通りの時代でした。ドラマの時代設定1986年は自分が高校1年生になったばかりの頃で、リアルに「ふてほど」時代に学生生活を送っていました。

高校生当時の自分は勉強もろくにせず、たまに学校をサボって悪友とパチンコや公園に行って暇を潰したり、学校に行っても授業を抜け出してはアプリオやお好み焼き屋さんに行ったり、そのあと学校に戻ってきたら職員室で即説教を食らったり。他にも書けないことがたくさんある「ふてほど」学生でした。「不良」ではありません、「ふてほど」です。

それでもなんとか大学に進み、4年で卒業して社会に出ることができました。自分で言うのもアレですが、こういった綱渡りは上手な方だったと思います。この綱渡りが今でも単位を落として留年する夢を見る原因なのかもしれません・・・

社会に出てからも学生の時に覚えた酒・たばこ・パチンコを変わらず続けていましたが、あることをきっかけに「ふてほど」から卒業しました。

それは、子供が生まれたことです。

結婚してしばらくして子供を授かり、子供が生まれた瞬間から別人間に変化したと自分でもはっきりと自覚しています。今まで何度もトライした禁煙。生まれたばかりの子供の顔を見た直後にたばこを止めるどころか嫌にまでなり、たばこを止めたらたばこ臭いパチンコ店に入ることも嫌になり、夜な夜な外に酒を飲みに行くこともなくなりました。これほど強烈なインパクトは人生に2回しかありません。2回目はもちろん次女が生まれた時です。ちなみに次女の時は仕事で大きな変化があり、そのころから現在勤めているとある製造業で設備・安全・衛生・環境・行政関係の仕事をしています。また、副業で年間数日間だけ特別職の国家公務員もしています。どちらも正直なところ天職につけたと思っています。

その娘たちも今は20歳と17歳。子供たちには当時の自分のことは伝えていません。娘たちは自分と違いサボることなく真面目に学校に通っています。部活も楽しみながら一所懸命。進路にもビジョンを持っているようです。当時の自分とは比較になりません。このことを当時の自分に聞かせてやりたいところです。

自分の変化や出会いのきっかけを与えてくれるのは間違いなく娘たちのようです。

高校を卒業して大学に通っている間はまだ大門高校の同級生と会う機会はありましたが、大学卒業後は同じ中学校の同級生以外的大门高校卒業生と出会うことがほとんどありませんでした。ところが、ここに来て中学校のPTAなど娘達の学校関係のつながりをきっかけに、数多くの大門高校の同級生、先輩、後輩に出会い、しまいには大門高校の同窓会理事会にまで誘われることになりました。また、娘の高校のPTAの集まりで大門高校生当時に部活の副顧問だった先生、現在は他校の校長先生と同じ席になりました。その時に一杯呑みに行く話になり、何人かで懐かしく楽しい時間を過ごすことができました。先に述べた特別職国家公務員も大門高校の卒業生の誘いです。間接的ではありますが、どれも娘達がきっかけで大門高校とのつながりが増えてきています。

人生後半戦に入っています。この先どんな変化や出会いがあるかわかりませんが、きっと今までのようにいい出会いがあると思っています。

この文を読んでくれた大門高校OB・OGの方にもいつか会えることを楽しみにしています。

娘達に感謝



同窓会役員

役職	氏名	期生
顧問	小林 伸一	1
会長	石王丸敦司	3
会長代理	井相田礼子	1
会長代理	若林 大輔	3
会長代理	横山 貴一	3
理事	福澤 泰樹	1
理事	桑山 知子	1
理事	山田 大輔	4
理事	島倉 奈緒	7
理事	高桑 慎	2
理事	武内 良昌	2
監事	大木太恵志	4
監事	渋谷 章弘	4

第34回 同窓会総会

日時：令和6年8月10日(土)
12:00～14:00
場所：射水市大門総合会館

＊例年通り総会・懇親会を開催しました。懇親会には36期生を招待し、約80名が参加し懐かしい先生や友人との再会を楽しみました。



ご案内

～第35回同窓会総会のご案内～

富山県立大門高等学校 同窓会総会2025
日時：令和7年8月9日(土)
場所：射水市大門総合会館

富山県立大門高等学校同窓会公式サイト
大門高校学校代表アドレス

daimonko@ed.pref.toyama.jp

同窓会 Web ページの URL

https://daimonhd-tym.org

学校 Web ページの URL

https://www.daimon-h.tym.ed.jp

令和6年度入試 大学等合格状況

国立大学	合格者数
北海道大学	1
宮城教育大学	1
新潟大学	3
富山大学	9(1)
信州大学	1
長崎大学	1
国立大学計	16(1)

公立大学	合格者数
秋田県立大学	1
横浜市立大学	1
新潟県立大学	1
長岡造形大学	1
富山県立大学	19
福井県立大学	1
都留文科大学	1
長野大学	2
公立大学計	27

私立大学	合格者数
工学院大学	1
駒澤大学	4
専修大学	3
東洋大学	5
明治学院大学	2
玉川大学	2
神奈川大学	6
東海大学	1
富山国際大学	14
金沢星稜大学	34
金沢工業大学	72
金沢学院大学	21
金城大学	7
北陸大学	9
福井工業大学	9
愛知大学	3
愛知学院大学	11
中京大学	12
南山大学	6
日本福祉大学	4
名城大学	11
龍谷大学	5
京都産業大学	37(1)
同志社大学	2
立命館大学	9(1)
関西大学	2
関西学院大学	2
近畿大学	20
同志社女子大学	5
私立大学計	380(2)

その他	合格者数
短期大学	13
専門学校	15

受賞の記録

【陸上競技部】

- 第77回富山県高等学校陸上競技対校選手権大会
男子400m 4位 村山 陽向(33H)
男子円盤投 4位 越田 恵介(32H)
男子円盤投 5位 山本 蒼大(22H)
男子ハンマー投 5位 山本 蒼大(22H)
女子ハンマー投 2位 久々 湊未桜(31H)
女子円盤投 5位 春木 悠花(21H)
女子やり投 8位 高橋あいか(32H)
- 第61回富山県高等学校新人陸上競技対校選手権大会
男子円盤投 1位 山本 蒼大(22H)
男子ハンマー投 2位 山本 蒼大(22H)
女子円盤投 3位 春木 悠花(21H)
女子ハンマー投 5位 春木 悠花(21H)
女子5000m W 3位 佐野美輝月(22H)

【弓道部】

- 第127回富山県春季高等学校弓道選手権大会
近的男子団体 3位
遠的女子団体 3位
- 第128回富山県秋季高等学校弓道選手権大会
遠的女子個人 3位 有澤 琉衣(11H)
- 第35回冬季富山県高等学校弓道選手権大会
近的女子団体 2位

【吹奏楽部】

- 第52回富山県吹奏楽コンクール
高等学校B部門 金賞
- 第67回中部日本吹奏楽コンクール
富山県大会 金賞
- 【伝統芸能部】
- 第35回富山県高等学校日本音楽演奏会
日本音楽部門 最優秀賞
- 【写真・放送・広報部】
- 第36回富山県高等学校文化祭
写真部門 奨励賞 石田 結葵(11H)
- 【情報デザイン部】
- 2024年度ロボットアイディア甲子園
甲信越大会 審査員特別賞
日本シエムケイ賞 正橋京士朗(23H)
- 第24回日本情報オリンピック予選
敢闘賞 尾田 雄飛(12H)

【特設部】

- 第77回富山県高等学校選手権水泳競技大会
男子200mバタフライ 3位 定塚 銀河(23H)
- 第40回富山県高等学校新人水泳競技大会
男子50m背泳ぎ 2位 定塚 銀河(23H)

学校の様子

体育大会・学園祭

